

製品名: BMP-8B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07605**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	BMP8B
別名	BMP8B; BMP8; Bone morphogenetic protein 8B; BMP-8; BMP-8B; Osteogenic protein 2; OP-2
遺伝子 ID	656.0
SwissProt ID	P34820
免疫原	抗血清はヒト BMP8B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

背景

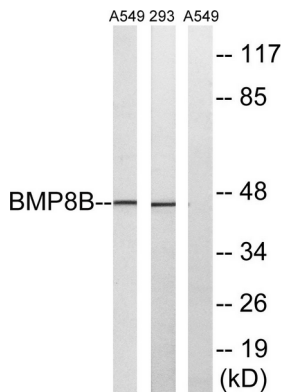
この遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードしています。このファミリーの

リガンドは様々な TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化を引き起こします。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって処理され、ジスルフィド結合ホモ二量体の各サブユニットを生成します。コードされているタンパク質は、褐色脂肪組織における熱発生を刺激します。膵臓がんでは、この遺伝子の発現が低下している可能性があります。この遺伝子は遺伝子重複によって生じた可能性があり、その遺伝子重複は 1 番染色体にも存在します。[RefSeq 提供、2016 年 7 月]、機能: 軟骨と骨の形成を誘導します。上皮性骨形成現象の原因となる骨誘導因子である可能性があります。カルシウム調節と骨の恒常性維持に役割を果たす。、オンライン情報:骨形成タンパク質 8b エントリ,類似性:TGF- β ファミリーに属する。、サブユニット:ホモ二量体;ジスルフィド結合。、

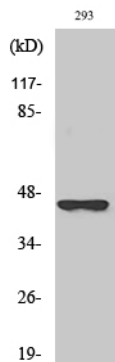
研究分野

ヘッジホッグ;TGF-ベータ;

画像データ



BMP8B 抗体を用いた 293 細胞および A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析
右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈の BMP-8B ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析